

令和 6 年度調査

記入例

※用紙は表面と裏面があります

記入日

令和 7 年 1 月 10 日

鹿による農作物被害対策に関するアンケート（表面）

被害の対象期間：令和 6 年 1 月～令和 6 年 12 月

質問 1 あなたの世帯のことについて、うかがいます

お住まい	奈良市	登大路 町
営農形態	☒ 専業農家	☐ 兼業農家

質問 2 あなたの耕作地のうち 水田 について、うかがいます

水田の耕作	☐ 耕作していない ⇒⇒質問 3 へ ☒ 耕作している（作付面積合計： 40 アール）※ 1 アール=10m×10m (100 m ²)		
耕作地の場所 （すべて）	奈良市	登大路	町
耕作目的	☐ 販売用 ☒ 自家消費 ※ 主なものどちらかにチェックして下さい		
田植え時期	5 月	収穫時期	10 月
鹿の被害	☐ 被害なし ☐ ほとんどない ☐ 軽微 ☒ 大きい（生産量の 30%未満） ☐ 深刻（生産量の 30%以上）		
被害の多い時期 （複数回答可）	4 月	5 月	6 月 7 月 8 月 9 月 10 月
被害面積割合	20 %	※ 作付面積のうち被害のあった面積割合	
被害傾向	令和 3 年と比較して ☐ 増加した ☒ 変わらない ☐ 減少した		

質問 3 あなたの耕作地のうち 畑（果樹、観賞用植物を含む）について、うかがいます

畑の耕作	☐ 耕作していない ⇒⇒質問 4 へ ☒ 耕作している（作付面積合計： 5 アール）※ 1 アール=10m×10m (100 m ²)		
耕作地の場所 （すべて）	奈良市	登大路	町
耕作目的	☐ 販売用 ☒ 自家消費 ※ 主なものどちらかにチェックして下さい		
鹿の被害	☐ 被害なし ☐ ほとんどない ☐ 軽微 ☒ 大きい（生産量の 30%未満） ☐ 深刻（生産量の 30%以上）		
被害作物 上位 3 種	1. 白菜	2. 大根	3. かぼちゃ
被害の多い時期 （複数回答可）	1 月 2 月 3 月 4 月 5 月 6 月 7 月 8 月 9 月 10 月 11 月 12 月		
被害面積割合	10 %	※ 作付面積のうち被害のあった面積割合	
被害傾向	令和 3 年と比較して ☐ 増加した ☒ 変わらない ☐ 減少した		

鹿による農作物被害対策に関するアンケート（裏面）

質問4 あなたの耕作地では、鹿による農作物被害への対策をおこなっていますか

被害対策	☒ 対策をしている ⇒ 質問5へ	☐ 対策をしていない ⇒ 質問6へ
------	--	--

質問5 あなたが実施している農作物被害への対策について、うかがいます

耕作地に防護柵を設置していますか	☐ すべてしている(100%) ☒ 概ねしている(99～75%) ☐ 半分程度している(75～25%) ☐ 一部している(25～1%) ☐ 全くしていない(0%)
設置されている場合、最も多くの面積を囲っている防護柵の種類を1つお答えください	☒ ワイヤメッシュ柵 ☐ 金網柵 ☐ トタン ☐ ネット柵 ☐ 電気柵 ☐ その他()
防護柵のメンテナンス頻度は、どれぐらいですか	☐ 毎週 ☒ 毎月 ☐ 2～3ヶ月毎 ☐ 半年毎 ☐ 1年毎 ☐ 1年以上 ☐ していない ☐ その他()
防護柵の効果に満足していますか	☐ 満足 ☒ やや満足 ☐ 普通 ☐ やや不満 ☐ 不満
防護柵以外で、取り組んでいる農作物被害対策はありますか（複数回答可）	☒ くず野菜・廃棄果樹等の適切な処理 ☒ 環境整備（耕作地周囲の藪の刈払い等） ☐ 追い払い（花火・犬等） ☐ 忌避（爆音機・忌避剤・光・ラジオ等） ☐ その他()

質問6 地域（町内）における鹿による農作物被害と対策について、うかがいます

地域（町内）における被害の傾向をお答えください	令和3年と比較して ☐ 増加した ☒ 変わらない ☐ 減少した
地域共同（複数人）で防護柵を設置していますか	☒ 設置済 ☐ 設置予定（今年） ☐ 設置予定（来年以降） ☐ 検討中 ☐ 予定はない ☐ わからない
地域（町内）で防護柵のメンテナンスについて話し合っていますか	☐ 継続してある ☒ 時々ある ☐ 過去にある ☐ していない ☐ わからない
話し合いは重要と思いますか	☐ そう思う ☒ ややそう思う ☐ どちらとも言えない ☐ あまりそう思わない ☐ そう思わない
地域共同防護柵の効果に満足していますか	☐ 満足 ☒ やや満足 ☐ 普通 ☐ やや不満 ☐ 不満

質問7 令和3～6年の防護柵設置状況について、うかがいます

令和3～6年に新たに防護柵を設置していますか	☐ いいえ ☒ はい（総延長：100 m／ ☒ 単独 ☐ 共同）
------------------------	--

質問8 鹿による農作物被害に関するご意見等がありましたら、記入してください

--

ご協力ありがとうございました。

令和4年度調査

記入例

※用紙は表面と裏面があります

記入日

令和4年 9 月 10 日

鹿による農作物被害対策に関するアンケート（表面）

被害の対象期間：令和3年1月～令和3年12月（昨年になります）

質問1 あなたの世帯のことについて、うかがいます

お住まい	奈良市	登大路 町
営農形態	☒ 専業農家	☐ 兼業農家

質問2 あなたの耕作地のある場所をすべて挙げてください
また、それらの作付面積の合計値をお答えください

耕作地のある場所	奈良市	登大路 町
作付面積（合計値）	水田 100 アール	畑 5 アール

※ 1アールは、10m×10m（100㎡）

質問3 あなたの耕作地では、鹿による農作物被害がありますか

鹿の被害	☒ 被害がある ⇒ 質問4へ	☐ 被害がない ⇒ 質問5へ
------	--	---------------------------------------

質問4 あなたの耕作地の鹿による農作物被害状況を水田と畑にわけてお答えください。

【水田】

耕作目的	☒ 販売用	☐ 自家消費	※ 主なものにチェックして下さい				
田植え時期	5 月		収穫時期	10 月			
被害の見られる時期※1	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
被害面積割合※2	20 %						
被害傾向について	令和元年と比較して ☐ 増加した ☒ 変わらない ☐ 減少した						

【畑（果樹、観賞用植物を含む）】

耕作目的	☒ 販売用	☐ 自家消費	※ 主なものにチェックして下さい									
被害作物上位3種	1. 白菜		2. 大根		3. かぼちゃ							
被害の見られる時期※1	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
被害面積割合※2	20 %											
被害傾向について	令和元年と比較して ☐ 増加した ☒ 変わらない ☐ 減少した											

※1 被害時期は、被害が多い月をお答えください（複数回答可）

※2 被害程面積割合は、作付面積のうち被害のあった面積割合を10%単位でお答えください

質問・問合せ 奈良県奈良公園室（TEL 0742-27-8028） 担当：池田、片桐、高見

鹿による農作物被害対策に関するアンケート（裏面）

質問5 あなたの耕作地では、鹿による農作物被害への対策をおこなっていますか

被害対策	☒ 対策をしている ⇒⇒質問6へ	☐ 対策をしていない ⇒⇒質問7へ
------	--	--

質問6 あなたが実施している農作物被害への対策について、うかがいます

耕作地に防護柵を設置していますか	☐ すべてしている(100%) ☒ 概ねしている(99～75%) ☐ 半分程度している(75～25%) ☐ 一部している(25～1%) ☐ 全くしていない(0%)
設置されている場合、最も多くの面積を囲っている防護柵の種類を1つお答えください	☒ ワイヤメッシュ柵 ☐ 金網柵 ☐ トタン ☐ ネット柵 ☐ 電気柵 ☐ その他()
防護柵のメンテナンス頻度は、どれぐらいですか	☐ 毎週 ☒ 毎月 ☐ 2～3ヶ月毎 ☐ 半年毎 ☐ 1年毎 ☐ 1年以上 ☐ していない ☐ その他()
防護柵の効果に満足していますか	☐ 満足 ☒ やや満足 ☐ 普通 ☐ やや不満 ☐ 不満
防護柵以外で、取り組んでいる農作物被害対策はありますか（複数回答可）	☐ くず野菜・廃棄果樹等の適切な処理 ☒ 環境整備（耕作地周囲の藪の刈払い等） ☐ 追い払い（花火・犬等） ☒ 忌避（爆音機・忌避剤・光・ラジオ等） ☐ その他()

質問7 地域（町内）における鹿による農作物被害と対策について、うかがいます

地域（町内）における被害の傾向をお答えください	☐ 増加した ☒ 変わらない ☐ 減少した
地域共同（複数人）で防護柵を設置していますか	☒ 設置済 ☐ 設置予定（今年） ☐ 設置予定（来年以降） ☐ 検討中 ☐ 予定はない ☐ わからない
地域（町内）で防護柵のメンテナンスについて話し合っていますか	☐ 継続してある ☒ 時々ある ☐ 過去にある ☐ していない ☐ わからない
話し合いは重要と思いますか	☐ そう思う ☒ ややそう思う ☐ どちらとも言えない ☐ あまりそう思わない ☐ そう思わない
地域共同防護柵の効果に満足していますか	☐ 満足 ☒ やや満足 ☐ 普通 ☐ やや不満 ☐ 不満

質問8 令和元～2年の防護柵設置状況について、うかがいます

令和元～2年に新たに防護柵を設置していますか	☒ はい（総延長： 100 m／ ☒ 単独 ☐ 共同） ☐ いいえ
------------------------	--

質問9 鹿による農作物被害に関するご意見等がありましたら、記入してください

--

ご協力ありがとうございました。

令和 4 年度「鹿による農作物被害対策に関するアンケート」お礼とご報告

奈良県奈良公園室

令和 4 年度に実施しました「鹿による農作物被害対策に関するアンケート」にご協力いただき、誠にありがとうございました。集計結果をご報告いたします。

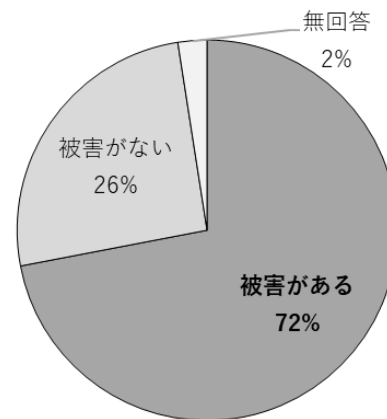
アンケートは、令和 3 年の農業被害対策について、主に鹿が生息する地域の 2,345 名を対象に送付し、607 名にご回答いただきました。農作物被害の現況を正しく把握するためには、より多くの皆様の回答が必要です。

平成 30 年度の初回調査と比べて、「被害が増えた」との回答は少し減りましたが、鹿による農作物被害が多い状況が続いています。

皆さまのご協力によるアンケート結果をもとに、今後も鹿による農作物被害対策として防護柵設置支援や捕獲強化を進めてまいります。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

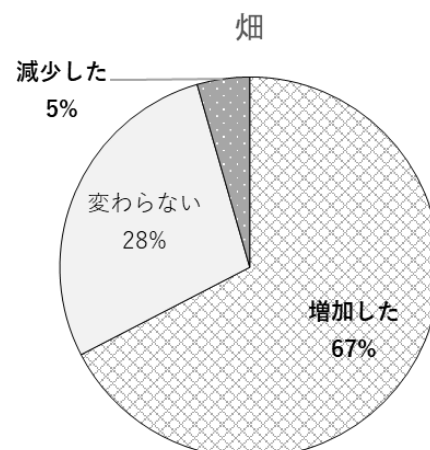
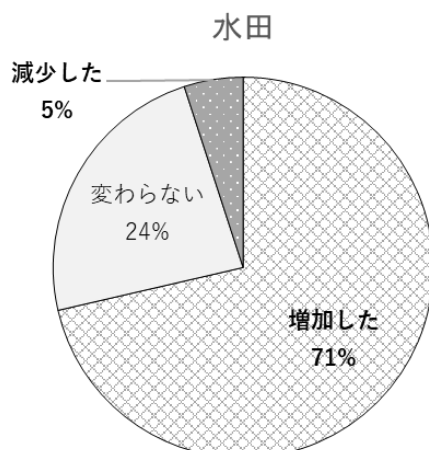
Q あなたの耕作地では、鹿による農作物被害がありますか

「被害がある」との回答は全体で 72%でした。



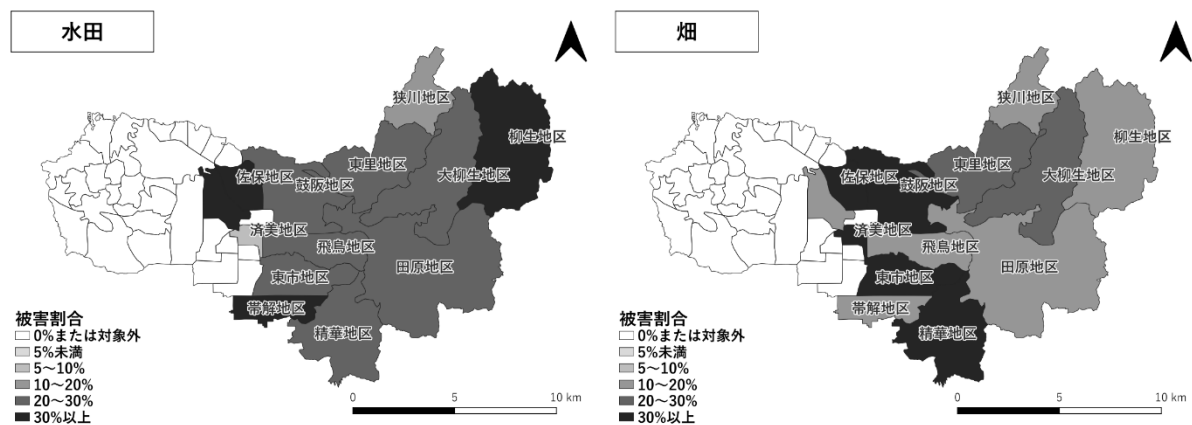
Q. 農作物被害傾向

水田・畑ともに、令和元年と比べて令和 3 年は被害が「増加した」との回答が最も多くなっていました。



Q 耕作面積に対する被害面積の割合

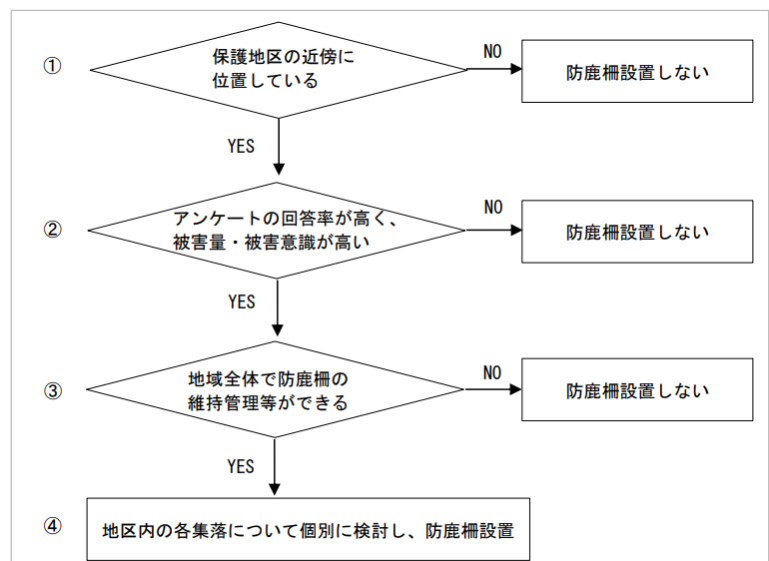
水田は特に帯解、柳生、東里で、畑は特に鼓阪、東市、精華で、被害面積の割合が大きくなっていました（回答数が5以下の地区を除く）。



アンケート結果の活用

アンケート結果をもとに、計画で定められた選定方針（下図）に従い防護柵を設置しました。

また、被害防除のための捕獲を鼓阪地区でも始めました。保護地区に隣接していない地区については、引き続き農業被害を起こしている加害個体の捕獲を行います。



出典：奈良市ニホンジカ第二種特定鳥獣管理計画（第2次）（奈良県, 2022）

アンケート調査概要

実施時期：令和4年9月

対象期間：令和3年1月～令和3年12月

対象者：奈良市内の13地区（東里地区、田原地区、狭川地区、鼓阪地区、飛鳥地区、柳生地区、大柳生地区、佐保川地区、精華地区、佐保地区、済美地区、東市地区、帯解地区）の農協組合員及び帯解地区の水利組合員

対象者数：2,345名

回答者数：607名（回答率25.9%）